

「税に関する高校生の作文コンクール」 仙台国税局長賞受賞おめでとうございます



「税に関する高校生の作文コンクール」で、衡中東地区の小川凜花さん(利府高校2年)が、村の18歳までの医療費無料化や給食費の減免などを例にあげた作文で仙台国税局長賞を受賞しました。

このコンクールは毎年国税庁が実施しているもので、今年、東北の163校から1万6083編の応募があり、仙台国税局長賞にはそのうち5編が選ばれ、宮城県では小川さんが唯一受賞しました。

税金のありがたみ

小川 凜花

私が病院に行った時、母は支払いをしない。元々が丈夫で減りに病院に行くことは無かったが、私はそれを不思議に思っていた。私が住んでいる大衡村は、十八歳まで医療費が無料だ。今こそ近隣の市町村、全国各地でそのような制度をしている所は多々あるが、村が無料化を実施した当初は、とても思い切った対策だと村民の間でも話題になったと聞いている。

また、給食を無料で食べている子どもがいる。それは、兄弟で四番目以降の子どもである。大衡村では、兄弟の上から二十%、四十%、八十%、百%引きで給食を食べることができる。

このように、大衡村は子育て世帯のお財布に優しい地域だ。医療費、給食費を例に挙げたが、その他にも様々な対策がとられている。人々が豊かな生活を送ることができるとも税金のおかげなのだ。税金は、自分の親の一部だと思つと、自分の体を大切に、感謝の気持ちをもつて制度を利用させていだだかなければいけないと感じた。

政治家が、自分のプライベートコレクションの目的で税を使つていたというニュースを以前聞いたことがあった。税金は日本において義務である。そのような事実を知つてしまうと、誰でも払いたくないと思うのは当然である。人々が豊かな生活を送るためという明確なものがあるならば、気持ち良く払うことができるかもしれないが、何に使われているか分からない、ましてや関係のないところで使われているかと思うと残念だ。国民一人一人がもつと税金に対して、正しく使用されているか厳しい目で指摘や賞賛していくことが大事だと思う。

小、中学校で配布される教科書や何ともしに通っている道路も税金が使われているからこそ、大切に感謝の気持ちを常にもつて生活を送つていかなければいけないと感じた。税金とは、人を助けるものである。自分たちが生活しているこの国が、より良く発展するためのもの、そして次世代に託せるように思いやりをもつて使用されなければならない。そのためには、自分自身も税金について知り、喜んで納税するくらいの人間になりたい。

おめでとうございます 地方自治法施行70周年 記念総務大臣表彰

11月20日(月)、大衡村診療所所長の平野富男さんが、多年にわたり村政発展と村民の社会福祉向上に寄与された功績により、地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰を受賞されました。



『ときわ台南』住宅団地完売のお知らせ

11月5日(日)から、ときわ台南住宅団地の分譲申し込み受付を行っていましたが、11月30日(木)をもって募集しました106区画全て完売となりました。

なお、一部の区画については、ハウスメーカーが建売する計画としています。

◆問い合わせ先

都市建設課 ☎341-8515

◆建売についての問い合わせ先

販売事務所 ☎344-5035



吉田川床上浸水対策事業 着工式

12月2日(土)、吉田川流域の床上浸水対策事業着工式が大和町落合地区内で行われました。

この事業では、平成27年9月の関東・東北豪雨の災害被害を踏まえて、遊水地を含む河川整備を6カ年で実施することとしており、萩原村長は「長年の課題であった治水対策を国、県と連携しながら早期完成に努めたい」とあいさつしました。



▲関東・東北豪雨の被害の様子(衡下地区)

石巻市と原子力災害時における協定を締結

村では、12月1日付けで石巻市と原子力災害時における住民の広域避難に関する協定を締結しました。これは、女川原子力発電所で原子力災害が発生もしくは発生する恐れがある場合に、発電所から30km圏内に位置する市町の住民が、圏外の市町村に避難するよう定めた県の計画に基づくもので、対象の住民約21万人が31市町村に避難をするものです。

石巻市では大衡村を含め、避難する27市町村と協定を締結し、有事の際に村では約2,000人の避難者を受け入れることとなります。